

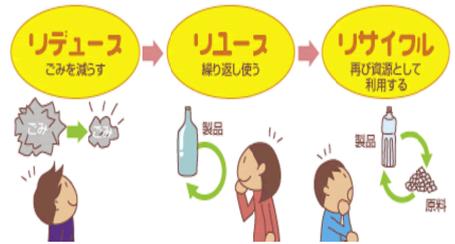
3R活動 『ほのん』

NPO法人リンクは地域をつなげる3R活動として「ほのん」を立ち上げました。

＜3Rとは＞



- リデュース（資源消費を減らす）
- リユース（繰り返し利用）
- リサイクル（資源として再利用）



法人として「人」と「人」との支え合い、「地域社会」との繋がりという考えのもとに

フードバンク活動



フードロスと生活にお困りの方への支援をつなげる食糧の寄付支援活動

物資支援活動



良質な家電や衣類の寄付品を必要な方へお届けしリユースする活動



現在、ご寄贈、ご寄付を募集中です。

食料・家電・衣類等お家で眠っている物品がございましたら、ご連絡をお願いいたします。



法人事務局

山武事業所

- 中核地域生活支援センター事業 さんネット
- さんぶ生活相談センターリンクサポート
(自立相談支援事業 就労準備支援事業 家計改善支援事業)
- 就労準備支援事業 あいリンク
- 千葉県障害者グループホーム等支援事業
- よろず相談センター めくもり

〒289-1345 千葉県山武市津辺171-1

TEL : 0475-77-7531 (法人本部・さんネット)

TEL : 0475-77-7532 (リンクサポート)

FAX : 0475-77-7538



お車の場合

国道126号線をご利用ください

電車をご利用の場合

成東駅下車 徒歩7分

発行元



特定非営利活動法人リンク

〒289-1345

千葉県山武市津辺171-1

TEL : 0475-77-7531

FAX : 0475-77-7538

編集後記

コロナ禍の1年。ワクチン接種も広がってきています。英国では夏以降のバカンスプランが売り切れ状態になっているそうです。本当に人間は遅いと思います。何度も戦争やパンデミックに見舞われながらも気持ちの片隅で、未来を明るく信じていくことができたご先祖様。その末裔が私たちです。ご先祖様に感謝と明るい未来を祈ります。 (編集班)



特定非営利活動法人 リンク

人がつながる 地域がつながる 社会がつながる

つながりたい かけがえのないあなたと

新年度スタート

今年の春は昨年度同様、新型コロナウイルスの脅威の中で迎えることとなりました。社会のあらゆるところに大きな影響を与え、さらに感染のリバウンドの脅威が迫っています。一年経てば、ある程度元の生活が過ごせていると思っていましたが、そんなに甘いものではありませんでした。

相談者の中には、コロナの影響で仕事ができず先が見通せない中で、今までの生活や仕事を一旦リセットせざるを得ない方も少なくありません。今の制度は申請主義が原則であり、制度を活用すれば今より生活が改善されることがほとんどです。しかし、ややもすると支援者は客観的に生活が改善される・安定することを最善と考え、支援します。しかし、今まで何年、何十年で築き上げてきた生活や仕事を変えることは、相談者やその家族にとってはとてつもない大きな決断となります。だからこそ、その大きな決断をされる背景とお気持ちを常に受け止めながら一緒に将来を考えられる、そんな支援者であり続けたいと考えています。

当法人は今年度、コロナを正しく怖がり、正しく対策しながら、既存の事業に加え、障がい者グループホームの2棟同時オープンやフードバンク・物資支援活動「ほのん」の本格活動、人財バンクの活用強化、さらに山武地域や千葉県地域ニーズに対応した活動を展開していきます。地域の方々と関係機関と一緒に地域活動を行える機会、専門職同士が集まり地域の活動を創り上げる機会をいくつも計画しております。詳しくは、随時お知らせしていきますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。



特定非営利活動法人リンク 理事長 吉井 稔



『リンク』には個性豊かなスタッフ、いつもサポートしてくれるボランティアなどたくさんの方々の繋がりがあります。これからどんな繋がりが出来ていくのか楽しみです。新年度もよろしくお願い致します。

令和2年度の活動と今後の生活困窮者自立支援事業 ～課題と展望～

令和2年度は、コロナに始まりコロナで終わりを迎える1年となりました。

大網白里市及び山武郡での生活困窮者自立支援事業3年間の活動の中で、これほど多くの住居確保給付金の相談及び申請支援と、緊急小口資金及び総合支援資金の貸付の相談を受けるといった経験は、後にも先にもないでしょう。また、誰しものが自身の生活がこれほどまでに変化することは想像をしていなかったでしょう。

成田空港関連や都内で勤務をされている方々、イベント関連や飲食店等様々な方面で労働されている方々、また、日本で労働する外国籍の方々等、普段の相談ではつながることのなかった方々からの経済的な困りごとを伺わせていただく中で、自立相談支援機関として相談者お一人お一人に寄り添いながら自立に向けた支援策を一緒に考えさせていただき努力をしてまいりました。緊急事態宣言が幾度となく発令、延長する情勢で、制度施策等が見直される度に、相談者の皆様に不利益のないように全相談員が日々情報をアップデートし、最善策でご支援をさせていただきました。

生活困窮者就労支援に係る受け入れ先の開拓等を目的とした会場の様子



【作業を通じた就労訓練】

また令和2年度より、山武郡においては「就労準備支援事業（あいリンク）」がスタートし、就職活動に向けた準備及び作業等を通じた職業訓練を実施する取り組みを行い、このコロナ禍ではありますが、約4割の方が何らかの就労につながり自立の一步を踏み出すことができました。今、記事を書いている4月現在、有効求人倍率は減少。転職や副業を余儀なくされる人々も多く、厳しい状況に至りました。住居確保給付金や貸付制度の情報が全ての方々に行き届いていらっしゃるかも知れません。

今後、情勢がどのように変化をしていくか、まだトンネルの出口が見えない状況ですが生活困窮者自立支援機関として、様々な情報を発信し皆様のニーズにお応えできるよう取り組んでまいります。令和3年度からは、山武郡を中心に、自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業・住居確保給付金受付業務を行います。また、法人として圏域全体を対象に就労訓練事業を実施し、相談者の自立と地域づくりを行なってまいります。今後ご指導ご鞭撻、また、本事業にあたりご協力のほど、よろしくお願いいたします。



【企業での作業体験】

さんぶ生活相談センターリンクサポート センター長 赤堀 久里子

＊就労準備支援事業は、（有）あいの手介護サービスとともに「さんぶ生活困窮者自立支援事業体」として受託しております。



ひきこもり支援事業～誰もが住みやすい地域づくり～

令和2年度大網白里市及び山武市において「ひきこもり支援」として、「心のいずみ（当事者の集い）」「家族の集い」を開催し、互いに相談ができる関係づくりと居場所づくりを行うと同時に、広く住民の皆様「ひきこもりに対する正しい理解」を促すための公開講座を開催してきました。

昨年度も同様に実施してきた事業であり、それぞれの会を重ねるごとに参加者も増加の傾向にあり、参加者からの継続実施のお声をいただくことが増えてきました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、会の開催が危ぶまれましたが、このご時世だからこそ必要とされているとの思いで感染対策を講じながらリアルでの活動を実施しました。

来年度は、大網白里市で引き続き事業を実施させていただき、山武圏域全体でも「ひきこもり支援」を実施する準備中です。

講師：
平田智子氏



講師：阿部達明氏

※事業の予定等は、法人ホームページ等でご確認ください。

大網白里市「ひきこもり支援」の主な予定



- 6月29日 市民公開講座
- 7月19日 家族の集い
- 8月16日 ひきこもり相談会
- 9月20日 ころのいずみ in 大網白里
(当事者のつどい)



講師
後藤智行氏



グループホームぼんぼら開所します！

4月1日付で共同生活援助事業（障害者のグループホーム）を運営することとなりました。地域の入居系資源の充実化を目指し、横芝光町に女性3名、山武市に男性5名の定員でスタートします。横芝光町のホーム名は「こうめホーム」、山武市のホーム名は「のぎくホーム」と名付けました。スタッフから公募した市町花の名をもらいました。事業所名である「ぼんぼら」は秋田弁でかぼちゃの意。かぼちゃは中身をくり抜くと空洞になります。その中に入居者様の様々な暮らしが一緒に楽しく詰め込まれますようにとの願いを込めて付けた名です。既に見学にお越しにいただいている方々には、住み始めてからやりたいことを話してくださる方もいらっしゃいます。みんなでショッピング、花見、カラオケ等々・・・。コロナ渦ではありますが、新しい暮らしに胸躍らせて語る様子にこちらでも楽しくなってきます。素晴らしい日々を迎えましょう。「ぼんぼら」いよいよスタートします。

『のぎくホーム』



『こうめホーム』

